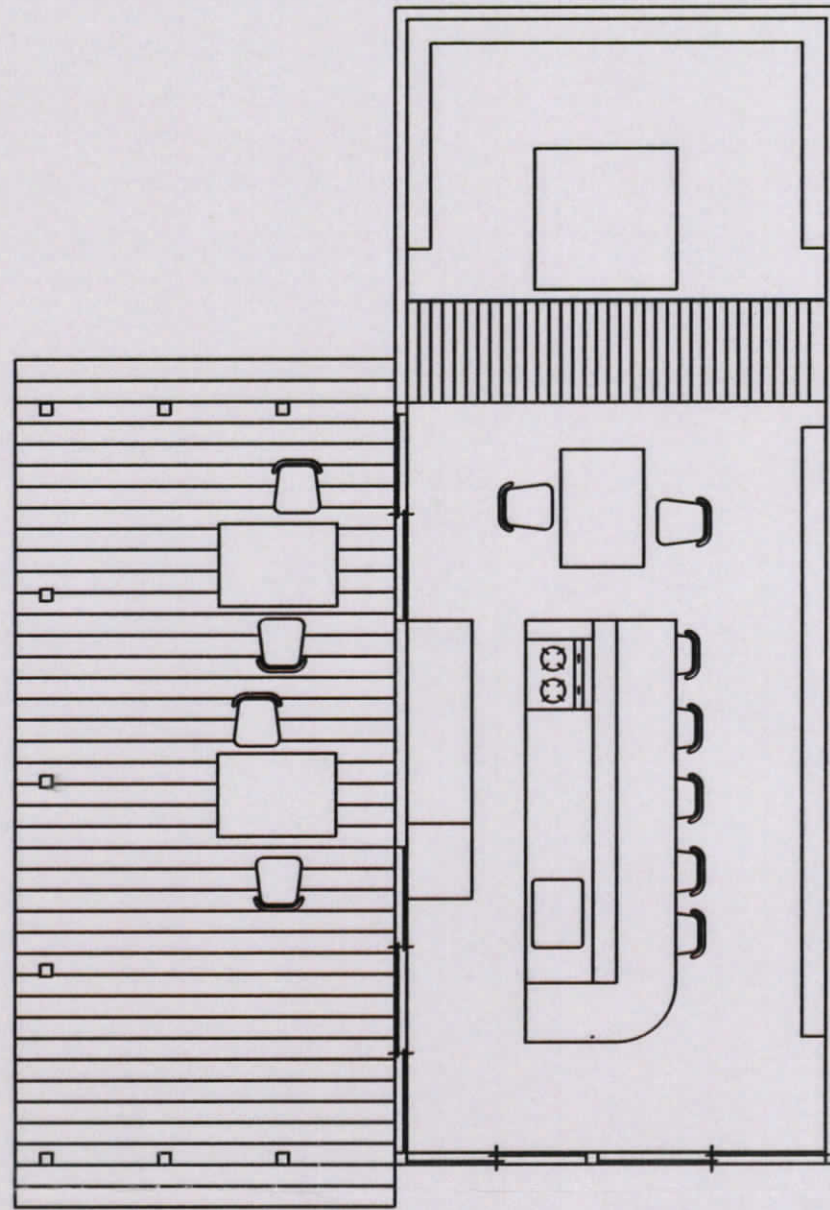


平屋の本屋

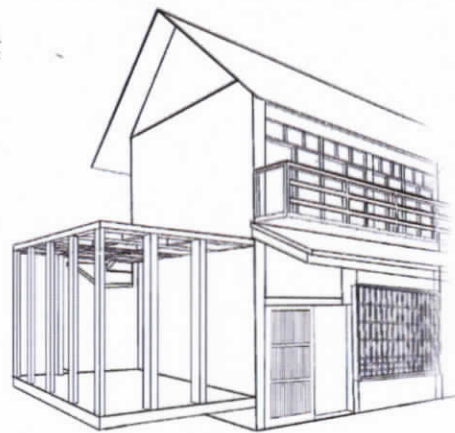


最近高山は多種多様なみなさんがいるように思えます。東から西と様々な人が今、高山にいます。そのなかで、やはり空き家も増えている。だが、逆にマンションやビルなどの高い建物が無い。それはつまり、高山は平屋建てがまだ輝ける状態ということだ。だから、光による暖かい居場所が造れるのだ。

コンセプト

沢山の本が置いているブックカフェ。街の住んでいる人でも旅の方でもゆっくりができて、交流ができる壁がない居場所。

- 要素
- ・ウッドデッキ
 - 沢山の活用要素
 - ①地域で餅つき
 - ②木曾木材でのDIY体験
 - ③外で読書
 - ④教室の場所 などなど



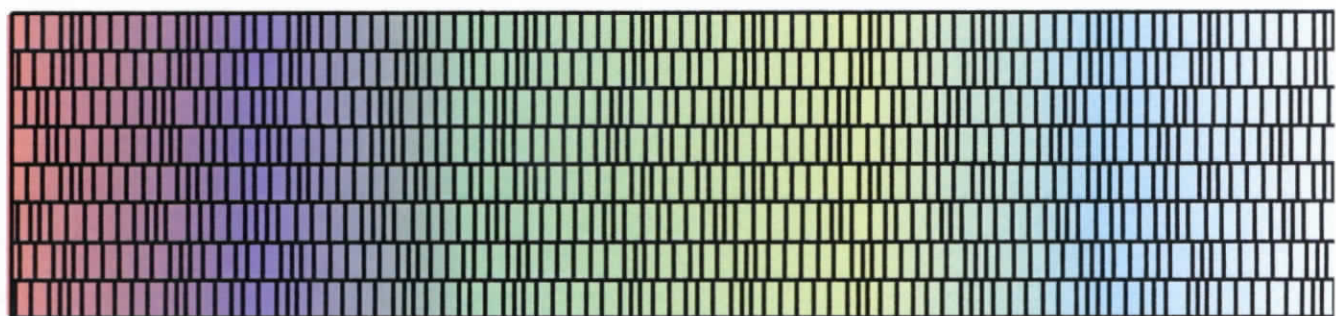
外見はそのままで大丈夫なくらい状態がいい、だから、ウッドデッキすることで、普段はブックカフェでも、違う日は教室としても切り替えれる。

自分が思った疑問

まわりは高い建物はなくて光が入りやすく、騒音も全くない。なのに、人がいないのはとてもおかしい事だ。

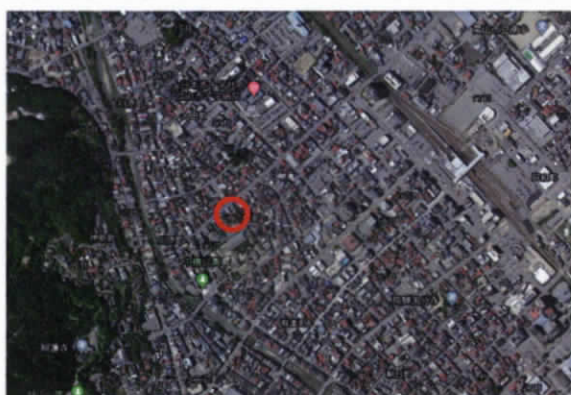
なぜ本屋か

図面を見てわかるが、カウンターや奥の部屋にはただ大きく本棚がおいてある。これだけでも、見た目のインパクトがあり若者が好きな写真映えにもなる。そして、広告を出すときの印象にもなる。



敷地

近くに全く建物がないので、光も風も入りやすい。落ち着く場所としては最高の場所だ。



今見るビジョン

- ・近くの陣屋さんに見学に行った方の休憩場所になる
- ・沢山の外人さんがいるので、身近に古民家を楽しめるところにする (やはり外国の方は日本の平屋を求めている)
- ・近くの学校に住んでいる子供たちの勉強場所にする
- ・近くに民宿やホテルが沢山あるので、旅人の気分を変える休憩所